

南陽アーティストフェスティバル

「防災アート トークセッション」

10月7日（土） 13:00～15:30

登壇者によるパネル展示 開場 11:00：閉場 17:00



震災・復興の世界的な権威のある東北大学災害科学国際研究所の今村教授と、ロンドンミュージアムのキュレーターであるMeriel Jeater（メリエール ジャーター）氏が来日して公演を開催します。

その後、日本の工業デザイナー・奥山清行も参加して、防災アート、復興や防災、未来に向けた社会や都市づくりなどについてのトークセッションを行います。

会場内では、防災アート、震災復興、研究に関する展示物も設置されます。

[展示時間 11:00～17:00]

<開催概要>

期 間：2023年10月7日（土）

会 場：南陽市交流プラザ『蔵楽』 山形県南陽市宮内 1004 番地の 1

共催・運営：株式会社 四季南陽、株式会社 KEN OKUYAMA DESIGN

後 援：山形県南陽市 協 力：OR TOKYO & BANK30、CULB NEO

入場料：無料(事前登録入場制)

<入場申込方法>

申込サイト：<https://nanyoartfes1007.peatix.com>

定 員：先着 200 名

申込期間：2023年10月6日（木）12:00 まで

※定員になり次第終了



<登壇者プロフィール>

今村 文彦（いまむら ふみひこ）

東北大学災害科学国際研究所教授（津波工学），前所長

山梨県甲斐市生まれ，東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了．同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授，同教授を経て，2014年より2023年まで災害科学国際研究所長．

専門は津波工学・自然災害科学で，津波被害の軽減を目指し，津波予警報システムの開発や太平洋での防災対策等の研究を数多く実施．津波数値技術移転国際プロジェクト TIME の代表．自然災害学会元会長，中央防災会議専門調査会委員，東日本大震災復興構想会議検討部会委員，など．現在，復興庁復興推進委員会委員長，一般財団法人3.11伝承ロード推進機構代表理事，土木学会副会長など．

主な受賞は，NHK放送文化賞(平成26年),文部科学大臣表彰（科学技術振興部門,平成27年および令和3年）防災功労者内閣総理大臣表彰（平成28年），濱口梧陵国際賞受賞(令和2年)

Meriel Jeater（メリエール ジャーター）

ロンドン博物館 考古学コレクション担当学芸員

バーミンガム大学にて歴史考古学、イーストアングリア大学にて博物館学を卒業。

考古学コレクションに携わり、ローマ時代、中世、近世を専門とする経験豊かな学芸員としてロンドン博物館で23年間勤務。ロンドン大火に関する2つの臨時展示と常設展示を含む、さまざまなテーマに関する展覧会を管理し、さらに展覧会のプロジェクト・マネージメントを行い、成功を収める。

また主任学芸員として率いる新博物館プロジェクト（2026年オープン予定）にて

紀元43年から2012年までのロンドンの歴史を年代順に展示するギャラリーにて双方向的な大火災の展示を予定。

奥山 清行（おくやま きよゆき）

工業デザイナー / KEN OKUYAMA DESIGN 代表

ゼネラルモーターズ社(米)チーフデザイナー、ボルシェ社(独)

シニアデザイナー、ピニンファリーナ社(伊)デザインディレクター、アートセンターカレッジオブデザイン(米)工業デザイン学部長を歴任。フェラーリ・エンツォ、マセラティ・クアトロポルテなどの自動車やドゥカティなどのオートバイ、鉄道、船舶、建築、ロボット、テーマパーク等数多くのデザインを手がける。

2007年よりKEN OKUYAMA DESIGN 代表として、山形・東京・ロサンゼルスを拠点に、企業コンサルティング業務のほかKEN OKUYAMA ブランドで自動車・インテリアプロダクト・眼鏡の開発から販売までを行う。秋田新幹線、北陸新幹線、トランスイート四季島、ヤンマー全製品、眼鏡と活動範囲を広げている。レッドドットデザインアワード審査員、その他。

常設展示・イベント

10/7(土)～10/9(月) ※各日程開催時間中

① 「THE LONDON POLICE／屋外ライブペインティング」



② 「KEN OKUYAMA CASA ポップアップショップ」



③ 「KEN OKUYAMA CARS 特別展示」

